

1 法的背景

◀ 墓地、埋葬等に関する法律 ▶

埋葬・火葬の方法・基準(遺骨の取扱い)、
墓地・納骨堂・火葬場の経営許可に関することを規定

法の目的：墓地、納骨堂、火葬場の管理等が国民の宗教的感情に適合し、公衆衛生その他公共の福祉の見地から支障なく行われること

○ 墓地・火葬場の経営

永続性

：終の住処・人生の最後を送り出す場として
安定的・永続的な運営が求められる

非営利性

：利益追求の手段となり利用者が不利益を
被ることがあってはならない

公共性が非常に高い

◀札幌市での取扱い▶
墓地等の経営主体は
行政・公益法人・宗教法人に限定
札幌市民の火葬は無料

2 社会的背景

少子化
・
高齢化

団塊の世代の寿命到来

⇒火葬件数の増加

子ども世代の人口少ない

⇒墓の後継ぎの減少

高齢単身世帯の増加

⇒孤立しがちな人の増加

【課題】

① 斎場

② 墓地

③ 遺骨

3 分野別課題と将来の目指す姿

① 斎場関係

①-1 火葬件数の増加

・火葬件数の増加傾向が継続
2017年：2万件⇒2054年：3.3万件

①-2 火葬・収骨待ちの発生

・火葬が午前中に集中、到着順
対応で火葬・収骨待ちが発生

ア 火葬体制の維持

・火葬需要への対応と災害時の安定
稼働を実現する斎場運営・整備

本日協議する部分

② 墓地関係

②-1 墓地の維持管理の負担

・後継ぎ不在、子の負担を嫌う
・高齢で墓参りや維持管理困難

②-2 墓地のニーズ多様化

・墓石型が低調、合葬墓や樹木葬、
散骨等を求める声が増加

イ 墓地需要への対応

・市民が望む墓の数・種類・制度の
整備に向けた行政と民間の役割分担

第3回会議で協議する部分

②-3 市営霊園の老朽化

・修繕が必要な箇所多数、
台風や地震により損害

②-4 無縁墓への対応

・無縁化疑いの増加
・地震被害の復旧の障害

②-5 霊園基金の逡減

・維持管理の財源の枯渇

ウ 市営霊園の安定運営

・墓地の安定運営に向けた
設備の老朽化や無縁墓への対応

③ 遺骨関係

③-1 引き取り手のない遺骨の増加

・孤立死や親族の引取拒否が増加
・3年保管し親族調査を実施するも
引き取られるのは1割程度

③-2 親族調査・遺骨保管の負担増

・親族調査に係る負担増や遺骨保管
場所の不足への対応

エ 無縁遺骨への対応

・職員負担の軽減と死者の尊厳保持の
ため遺骨の無縁化抑制

4 基本構想の策定(2020年3月公表予定)

斎場・墓地の現状と課題

・斎場・墓地実態調査
・アンケート調査
・火葬件数や
墓地需要の推計
・市営霊園
無縁化疑い調査 等

進行管理体制

・アンケート調査
・外部委員の検証

斎場・墓地の目指す姿

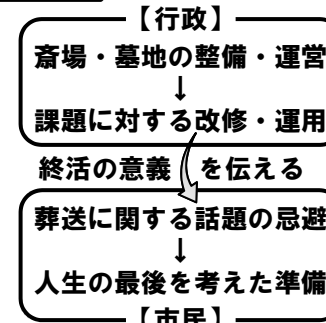
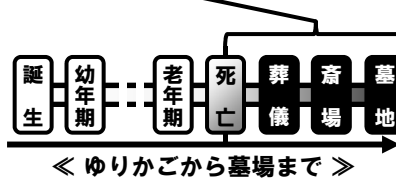
・サービス水準は？
・何を重視した
運営にする？

取組の候補

あり方検討
委員会の意見

5 基本構想で目指すもの【将来像】

【基本構想の位置づけ】
死後の部分を包括する計画



行政の課題解決

本人も周囲の人も
より良い人生へ

市民の葬送の不安解消